

主要医療用医薬品の解説

レミケード	2002年5月発売	薬効	抗TNF α モノクローナル抗体製剤
<p>炎症性サイトカインであるTNFαをターゲットとした抗TNFα抗体で、早く強力な効果と、1回の点滴で8週間効果が持続するという点が特長である。関節リウマチ(関節の構造的損傷の防止を含む)をはじめ、クローン病、潰瘍性大腸炎、尋常性乾癬、関節症性乾癬、膿疱性乾癬、乾癬性紅皮症、ベーチェット病による難治性網膜ぶどう膜炎、強直性脊椎炎の効能・効果を有する。2015年8月に腸管型ベーチェット病、神経型ベーチェット病、血管型ベーチェット病、2015年12月に川崎病の効能を追加し、2016年5月には乾癬の用法・用量の追加(増量・投与間隔の短縮)について、2017年5月にはクローン病の用法・用量の追加(投与間隔の短縮)について承認を取得した。 オリジン:(米)ヤンセン・バイオテック</p>			
シンボニー	2011年9月発売	薬効	ヒト型抗TNF α モノクローナル抗体製剤
<p>炎症性サイトカインであるTNFαをターゲットとした抗TNFα抗体で、4週間に1回の皮下注射投与で、長期にわたり継続する優れた有用性を有する。適応症は関節リウマチ(関節の構造的損傷の防止を含む)に加え、2017年3月に潰瘍性大腸炎の効能を追加した。 オリジン:(米)ヤンセン・バイオテック</p>			
タリオン	2000年10月発売	薬効	アレルギー性疾患治療剤
<p>抗ヒスタミンH1作用の発現が早くみられ、アレルギー性鼻炎、蕁麻疹、皮膚疾患に伴う痒みから早期から高い効果を発揮する。一方で、眠気の発現頻度が低い。2007年7月に口腔内崩壊錠を発売し、2015年5月に小児(7-15歳)適応の承認を取得した。 オリジン:宇部興産</p>			
テネリア	2012年9月発売	薬効	選択的DPP-4阻害剤
<p>当社が創製した初の日本オリジンのジペプチジルペプチダーゼ-4(DPP-4)阻害剤で活性型GLP-1の血中濃度を上昇させることにより、血糖依存的なインスリン分泌促進・グルカゴン分泌抑制をもたらす血糖降下作用を発揮する2型糖尿病治療剤である。</p>			
レクサプロ	2011年8月発売	薬効	選択的セロトニン再取り込み阻害剤(SSRI)
<p>セロトニントランスポーターに高い選択性を持つSSRIで、世界98の国と地域で承認されている。うつ病・うつ状態への優れた有効性と良好な忍容性が認められている。さらに、用法・用量が簡便であることから抗うつ薬治療で重要な服薬アドヒアランスの向上が期待される。2015年11月に社会不安障害(SAD)適応の承認を取得した。 オリジン:ルンドベック(デンマーク)、製造販売元:持田製薬</p>			
セレジスト	2000年9月発売	薬効	脊髄小脳変性症治療剤
<p>脊髄小脳変性症における運動失調を改善する甲状腺刺激ホルモン放出ホルモン(TRH)の誘導体である。本剤が発売されるまでは注射剤のみであったが、自社技術により経口投与を世界で初めて可能にした。2009年10月に口腔内崩壊錠を発売した。</p>			
メインテート	1990年11月発売	薬効	選択的 β 1遮断剤(高血圧症・狭心症・不整脈・慢性心不全治療剤)
<p>世界100カ国以上で使用されている代表的なβ1遮断剤。極めて高いβ1選択性と良好な薬物動態を示し、高い有効性と安全性とともに、生命予後改善の豊富なエビデンスを有する。2011年5月に慢性心不全、2013年6月に頻脈性心房細動の効能をそれぞれ追加。 オリジン:(独)メルクセロー</p>			
カナグル	2014年9月発売	薬効	SGLT2阻害剤
<p>カナグル(一般名:カナグリフロジン水和物)は、当社が創製したナトリウム-グルコース共輸送体(sodium glucose co-transporter;SGLT)2阻害剤であり、腎臓に存在するSGLT2を阻害することで、尿糖排泄促進作用を通じた血糖低下作用を発揮する。本剤は、米国、欧州、オーストラリアなども含め世界78カ国以上で承認されており、これらの国ではヤンセンファーマが製品名「インヴォカナ」で販売している(2017年3月現在)。</p>			
クレメジン	2011年4月発売	薬効	慢性腎不全用剤
<p>高純度の多孔質炭素からなる球形微粒状の経口吸着薬。慢性腎不全時の尿毒症毒素の吸着・除去により尿毒症症状の改善、腎機能低下進展抑制ならびに透析導入の遅延を図る。1991年12月に発売後、2011年4月、第一三共からの販売移管により、当社が販売を開始した。 オリジン・製造販売元:クレハ</p>			
ラジカット	2001年6月発売	薬効	フリーラジカルスカベンジャー
<p>日本で開発された世界初の脳保護剤(フリーラジカルスカベンジャー)であり、脳梗塞急性期の患者における神経症候、日常生活動作障害、機能障害(退院時の後遺症の程度)を改善する。脳梗塞の3つの主要病型(ラクナ梗塞、アテローム血栓性脳梗塞、心原性脳塞栓症)いずれにも適応がある。発症後24時間以内に投与を開始し、投与期間は14日以内。2010年5月には点滴静注バッグを発売した。 筋萎縮性側索硬化症(ALS)を適応として2005年6月にオーファンドラッグに指定され、2015年6月に承認を取得した。</p>			

イムセラ	2011年11月発売	薬効	多発性硬化症治療剤
多発性硬化症における神経炎症を抑制するファースト・イン・クラスの薬剤である。リンパ球上のスフィンゴシン1リン酸受容体に作用して、自己反応性リンパ球の中樞神経系への浸潤を阻止する。多発性硬化症の薬物治療に対し、経口投与(1日1回)が可能であり、患者さんの負担を軽減する。当社が創製し、ノバルティスファーマと共同で開発を行い当社では製品名「イムセラ」、ノバルティスファーマでは製品名「ジレニア」で販売されている。			
ウルソ	1962年7月発売	薬効	肝・胆・消化機能改善剤
本剤の主成分ウルソデオキソール酸(UDCA)は、古くから消化器症状の改善に用いられてきた熊胆(クマノイ)が薬効の起源であり、ヒト生体内に存在する胆汁酸の一つである。本剤は肝細胞を保護する作用を持ち、慢性肝疾患・C型慢性肝疾患における肝機能の改善、胆石の溶解等の効果を持つ。			
インフルエンザワクチン	1972年9月発売	薬効	インフルエンザの予防
季節性インフルエンザの予防に用いられる。2015年より、これまでの3価ワクチンから4価ワクチンに変更された。 オリジン・製造販売元：一般財団法人阪大微生物病研究会			
テトラビック	2012年10月発売	薬効	百日せき、ジフテリア、破傷風及び急性灰白髄炎の予防
既存のDPTワクチンに不活化ポリオワクチン(IPV)を混合した4種混合ワクチン。定期接種1期初回(3回)および1期追加(1回)の計4回接種に使用される。IPVは急性灰白髄炎(ポリオ)の予防のみならず、従来の生ポリオワクチン投与により極めて稀に発生するワクチン関連麻痺の解決が期待されている。 オリジン・製造販売元：一般財団法人阪大微生物病研究会			
水痘ワクチン	1987年3月発売	薬効	水痘および50歳以上の者に対する带状疱疹の予防
水痘(みずぼうそう)の予防に用いられるワクチンで、2014年に定期接種化された。また、2016年、50歳以上の者に対する带状疱疹の予防に関する効果・効果が承認された。 オリジン・製造販売元：一般財団法人阪大微生物病研究会			
ミールビック	2005年12月発売	薬効	麻しんおよび風しんの予防
麻しんと風しんの予防接種が同時に行え、接種者の負担が軽減できる乾燥弱毒生麻しん風しん混合ワクチン。定期接種1期、2期で使用される。1回の接種で麻しんと風しんの両方の免疫を獲得できることから、被接種者(保護者)や医療関係者の負担軽減、麻しんおよび風しんの予防接種率向上に寄与している。 オリジン・製造販売元：一般財団法人阪大微生物病研究会			